里山たより

２０２０年3月　第２３５号

発行：里山クラブ可児
代表　大鹿　広光
編集、校正：里山クラブ可児
広報　大見　昭敏

１、活動報告

２／５（水プロ）　参加会員：１２名

やっと冬らしい冷たい風が吹く中、１１名の会員が参加してくれました。その中には新たに入会した渡邉会員も仕事の都合が良くて参加してくれました。
午前中は、田んぼ仕事も一段落なので参加会員がそれぞれに散って各自の自主活動などを行い
午後からは、ブルーベリー畑近くの立ち枯れたアベマキの伐採と薪用に玉切りを実施しました。

２／１２（水プロ）　参加会員：７名

今日の活動は、少数精鋭の７名の会員が参加してくれました。
２３日（日）に開催される環境フェスタの準備や農機具小屋のあるわんぱく広場に新たなキッズテラスを構築する木材を製材所に搬入するなどを行いました。

２／１６（例会）　参加会員：７名

天気予報どうりに朝から冷たい雨が降る中、７名の会員が管理棟に集まりまずはストーブを炊いてお湯を沸かしコーヒータイムで始まりました。
その後は、環境フェスタに向けてもち米や銀杏の袋詰めと土曜日の準備と日曜日の本番での作業や必要備品の確認などを行い早めの散会となりました。

２／１９（水プロ）　参加会員：１０名

環境フェスタも間近になり今日は、その準備に１０名の会員が参加してくれました。
午前中は、椎茸のホダギに植菌打ちを行い午後からは、里芋室から里芋を掘り出す作業をして
本格準備の土曜日に向けて管理棟に広げて乾燥させ袋詰めためにに干すことにしました。

２／２２（土曜日）　環境フェスタ出展準備

前日の金曜日に突然の事ですが可児市より国内でもコロナウイルスによる罹患者が出てきていることを
憂慮して日曜日開催の環境フェスタの中止が急遽発表されました。
よって出展の準備作業も中止となり落胆と拍子抜けの中、水曜日に掘り出した環境フェスタでの
販売を予定していた大量の里芋は、どうしましょう？　困ったぁー

２／２３（例会）　参加会員：１６名

環境フェスタが急遽の中止となりフェスタへの参加を予定していた会員が例会日でもあり１６名が
参加してくれました。
午前中は、椎茸ホダギへの植菌班と里芋の後片付け班、そして過去に杉の大木に設置したブランコ
撤去班に別れての活動となり午後からは、夢工房前の丘の斜面が風雪でもろく崩壊してきている状況
から斜面近接の木の伐倒することにしました。

２／２６（水プロ）　参加会員：８名

春のようなポカポカ陽気に誘われて８名の会員が参加してくれました。

先週の例会時に伐倒した夢工房前の木を玉切りして薪割りまでの作業を継続実施しました。

その他の活動では、薪の配達やＮＴＴ労連の標識看板の修復建て替え等をする事が出来ました。

２、２月度の我田の森への入山人数

１、里山クラブ可児会員・・・・・・・・・・・・・	６０人（累積：	９２１人）
２、自然育児こどもの庭（親と幼児）・・・・・・・・	２１４人（累積：	１８６２人）
３、講座・・・・・・・ ・・・・・・・・・・・・・	０人（累積：	１３５人）
４、行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	０人（累積：	１８４人）
５、外部団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	０人（累積：	１３５人）
６、協力団体（岐阜森林愛護隊）・・・・・・・・・	０人（累積：	２３人）

令和元年度の累積入山人数　：　３２６０ 人

３、活動予定

例会　　：　３／１５、２２の日曜日

里山クラブ可児の運営委員会（総会前の活動日）や総会（３／１５）を予定しています。

３／１５例会日は、総会と里山クラブ可児設立２０周年の食事会を行いますので多数のご参加をお待ちしております。

水プロ　：　３／４、１１、１８、２５の水曜日

棚田の保全と作業路の整備作業が予定しています。

以上　２３５号